

全米学生ゼネストに呼応し、米帝=日帝のカンボジア侵略を粉碎せよ！

米学生虐殺に抗議し、全米学生ゼネストに呼応し
大決起せよ！

アメリカのセント州立大学で湧き上った米軍のカンボジア介入に反対する学生反戦デモに恐怖した州兵は、学生4名を虐殺し、400名以上の学生を不当逮捕した。すでに全米では、これを契機に全米学生ゼネストに向けて決起している。今回のニコソンの私兵11州兵による学生虐殺が、明きうかにベトナムでの敗北——ドル危機の深化に迫らねられた米帝の狂気じみた人民に対する血の強圧に他ならない。ニコソンは、その一切の政治生命を賭けてオースーカンボジアへ危機をエスカレートし、一月泥沼的な侵略と殺りくに狂奔している。今や彼らの望むジュネータイプ解決、ベトナム化が悉く破綻し、今や帝国主義者は、逃げられない死の泥沼にますます身を沈めていく。米帝の偽善的なベトナム化——米軍撤退が、全くの不可能化し、ヤテンであることが、人民の前に浮き出され、米国内では猛烈な怒りの嵐が湧き上っている。今や、植民地体制のマジヤ危機をめぐる崩壊は、アメリカの戦後世界体制の全てをズグズグに引き裂いている。特に今回のカンボジアでの危機を喰い止めるのに失敗したならば、雪崩式に危機がマジヤ全域に波及することは必至であり、それ故に此のカンボジア危機は、帝国主義者にとって、死の生命線となるのである。カンボジア危機こそ、一切のカギとなっている。

カンボジア参戦口会議→日帝のマジヤ侵略を粉碎せよ！

ジャカルタで開催されるマジヤ諸国会談に、佐ト政府は、愛知外相を出席せしめる。此のことは、明きうかに、日帝が、アメリカの破綻を積極的に赤縫し、カンボジア介入を通じてマジヤへ積極的に侵略し七〇年代の侵略的乗り切りに躍起となっている。マジヤ諸国の危機的動揺を尻目に、日帝が、異常な位の此の会議に意気込んでいる姿こそ、その証左である。日米共同声明「マジヤ侵略宣言の本質が、ますますバク口されてきたのである。

カンボジア—インド 朝鮮危機の緊迫性とマジヤ革命

ベトナム—オースーカンボジア—沖縄をめぐるヒタヒタと迫るマジヤ危機は、その客観条件とオロレタリヤ人民の決起に基づく深刻性とスケールにおいて、中東—朝鮮—インドなどマジヤ全域へと拡がり、ますますマジヤ的な死の泥沼に拡がっている。マジヤ革命の世界史的条件と日帝との内乱的死闘の昂揚は、ますます現実的問題となっている。

5-18 (土) PM 5 じ半

中え島剣先公園

『米帝のカンボジア軍事介入抗議緊急行動』

主催大阪地区反戦連絡会議

5-13 (木) PM 3 じ 20 番教室

カンボジア参戦口会議粉碎・市

大政治集会『主権反戦会議』

講演 赤松英一氏(マル学同副委員長)

—市大反戦会議—